

平成28年富士山金太郎議会会議録

平成28年10月14日

召集の場所 小山町役場議場
開 会 午後3時30分 宣告
出席議員 1番 勝俣 昇太君 2番 勝又 涼菜君
3番 高橋 美紀君 4番 江藤 黎君
5番 井上 美祐君 6番 渡辺 千晶君
7番 小見山大輔君 8番 村松 里彩君
9番 坂井 新一君 10番 瀬戸 友香君
11番 谷口 碧惟君 12番 天野 隆佑君
13番 田代 朝来君 14番 山崎 瑠夏君
15番 田代 夕芽君 16番 山田 育代君
欠席議員 17番 岩瀬 史歩君 18番 澤木ひかる君
19番 佐藤えりな君

説明のために出席した者

町 長	込山 正秀君	副 町 長	田代 章君
教 育 長	天野 文子君	企 画 総 務 部 長	湯山 博一君
経 済 建 設 部 長	池谷 精市君	住 民 福 祉 部 長	秋月 千宏君
教 育 部 長	田代 順泰君	危 機 管 理 監	岩田 芳和君
総 務 課 長	小野 一彦君	総 務 課 副 参 事	米山 仁君

職務のために出席した者

議 会 事 務 局 長 鈴木 辰弥君

閉 会 午後5時34分

(議 事 日 程)

日程第1 議席の指定

日程第2 会期の決定

日程第3 一般質問

2番 勝又涼菜君

1. 小山町のPR戦術について

3番 高橋美紀君

4番 江藤 黎君

1. 小山町の路線バス・コミュニティバスについて

5番 井上美祐君

6番 渡辺千晶君

1. 「いつでも、だれでも、どこでも」スポーツに親しめる町づくりについて

7番 小見山大輔君

8番 村松里彩君

1. 小山町の災害ハザードマップについて

9番 坂井新一君

10番 瀬戸友香君

1. 小山町の魅力の伝え方について

11番 谷口碧惟君

12番 天野隆佑君

1. 小山町の健康福祉対策について

13番 田代朝来君

14番 山崎瑠夏君

1. 小山町のUターン就職の施策について

15番 田代夕芽君

16番 山田育代君

1. 自然豊かな町の公園づくりについて

午後 3 時30分 開議

○**議会事務局長（鈴木辰弥君）** 本日は、平成28年富士山金太郎議会小山高校生議会にお集まりいただきまして、大変ありがとうございます。

私は、本日の司会進行を務めます小山町議会事務局の事務局長 鈴木辰弥と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

まず最初に、池谷 弘副議長から開会の言葉を申し上げます。

○**副議長（池谷 弘君）** ただいまから平成28年富士山金太郎議会を開催いたします。よろしくお願いいたします。

○**議会事務局長（鈴木辰弥君）** ありがとうございます。

次に、込山正秀町長から御挨拶を頂きます。

○**町長（込山正秀君）** 皆さん、こんにちは。小山町長の込山正秀でございます。

富士山金太郎議会の開会に当たり、一言御挨拶を申し上げます。

小山高校の生徒の皆さんには、勉強や部活動で大変お忙しい中にもかかわらず当議会に御参加いただきまして、こうして議会が開催できますことを大変うれしく思います。

また、校長先生や他の先生方におかれましても、御理解、御協力いただきまして、このような議会ができますこと、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。ありがとうございます。

平成27年 6 月に公職選挙法が一部改正される法律が公布されました。今年の 7 月の参議院議員選挙から18歳以上であれば高校生でも選挙に参加することができるようになりました。

今回の参議院の町全体の投票率は62.5%でありましたが、そのうち18歳の投票率は41.8%でございました。まだまだ若い世代の投票率の低さと、政治への関心がまだまだ低いのではないかと感じているところであります。

来年は、静岡県知事選挙が予定されており、この場におられる生徒さんの中からも、実際に投票に行かれることになるのではないかと思います。

このようなことを踏まえて、本日は自分たちの住んでいる町や通学されている町について考え、一番身近である地方行政に興味を持っていただくきっかけになっていただければと思います。

さて、本日は、町政に対して高校生議員から様々な質問や提案が寄せられております。若い皆さんからの思いを直接聞かせていただけることは、私どもとしても大変貴重な機会であります。

質問に当たっては、緊張するかと思いますが、これからの未来を担っていくという心意気で、高校生議員としての職責を全うしてもらいたいと思います。町側といたしましても、本議会と同様に、真摯に臨みたいと考えております。

最後に、高校生の皆さんと小山町の双方にとって意義のある議論ができますことを期待いたしまして、挨拶とさせていただきます。よろしくお願いいたします。

○**議会事務局長（鈴木辰弥君）** 込山町長、大変ありがとうございました。

続きまして、本日出席の小山町特別職と職員の紹介をいたします。

まず最初に、小山町長 込山正秀です。

- 町長（込山正秀君） よろしくお願ひします。
- 議会事務局長（鈴木辰弥君） 続きまして、小山町統括副町長 田代 章です。
- 副町長（田代 章君） よろしくお願ひします。
- 議会事務局長（鈴木辰弥君） 続きまして、小山町教育長 天野文子です。
- 教育長（天野文子君） よろしくお願ひします。
- 議会事務局長（鈴木辰弥君） 続きまして、企画総務部長 湯山博一です。
- 企画総務部長（湯山博一君） よろしくお願ひします。
- 議会事務局長（鈴木辰弥君） 続きまして、経済建設部長 池谷精市です。
- 経済建設部長（池谷精市君） どうぞよろしくお願ひします。
- 議会事務局長（鈴木辰弥君） 続きまして、住民福祉部長 秋月千宏です。
- 住民福祉部長（秋月千宏君） よろしくお願ひします。
- 議会事務局長（鈴木辰弥君） 続きまして、教育部長 田代順泰です。
- 教育部長（田代順泰君） よろしくお願ひします。
- 議会事務局長（鈴木辰弥君） 続きまして、危機管理監 岩田芳和です。
- 危機管理監（岩田芳和君） よろしくお願ひいたします。
- 議会事務局長（鈴木辰弥君） 続きまして、総務課長 小野一彦です。
- 総務課長（小野一彦君） よろしくお願ひいたします。
- 議会事務局長（鈴木辰弥君） 次に、高校生議員の自己紹介をいたします。

本来、議長は、議会の選挙で選出されますが、時間の都合上、あらかじめ決めさせていただきました。議長は、1番 勝俣昇太君です。

また、今回提出される一般質問は2人で1グループを結成し、グループで考えた内容を代表者が質問する方法をとっております。

それでは、議席番号の1番と2番の議員は1人ずつ、3番と4番からは2人ずつで議員発言台の方へ進み、順次、学年、氏名、コメントの順に自己紹介をお願いします。では、1番の方から。

- 1番（勝俣昇太君） 議席番号1番 勝俣昇太です。小山高校3年生で、富士山金太郎議会というこの場で議長を務めさせていただくことは、とても貴重な経験なので、今後の生活や様々な経験での糧になればいいなと思っています。本日はよろしくお願ひします。
- 2番（勝又涼菜君） 議席番号2番 1年生、勝又涼菜です。大変緊張していますが、町をより良くするために堂々と質問させていただきますので、よろしくお願ひします。
- 3番（高橋美紀君） 議席番号3番 高橋美紀です。本日は人生において大変貴重な経験をさせていただくことを心に置いて、一生懸命務めさせていただきます。よろしくお願ひします。
- 4番（江藤 黎君） 議席番号4番 2年、江藤 黎です。このような場は初めてでとても緊張していますが、後々に活かせるように頑張りたいと思っています。よろしくお願ひします。

- 5番（井上美祐君） 議席番号5番 1年、井上美祐です。このような場で発言させていただくことはとても緊張していますが、この機会に政治のことを少しでも多く学ぶことができればと思います。よろしくお願いします。
- 6番（渡辺千晶君） 議席番号6番 渡辺千晶です。この場で発言することはとても緊張していますが、いっぱいみんなで考えてきたので、それをちゃんと伝えるために頑張りたいです。
- 7番（小見山大輔君） 議席番号7番 2年、小見山大輔です。今日は高校生の代表としてしっかりと意見が言えるように頑張るので、よろしくお願いします。
- 8番（村松里彩君） 議席番号8番の1年、村松里彩です。人前で発表するのはとても緊張してしまうのですが、一生懸命頑張りたいと思います。よろしくお願いします。
- 9番（坂井新一君） 議席番号9番 2年の坂井新一です。またと無い機会なので、頑張りたいと思います。よろしくお願いします。
- 10番（瀬戸友香君） 議席番号10番 1年、瀬戸友香です。このような場に立って発言をするというのは初めての経験なので、とても緊張していますが、頑張りたいと思います。よろしくお願いします。
- 11番（谷口碧惟君） 議席番号11番 谷口碧惟です。まだまだ未熟な身ではありますが、今回の議会の活性化の助力になれるよう発言させていただきますので、今日はよろしくお願いします。
- 12番（天野隆佑君） 議席番号12番 1年、天野隆佑です。こういった場で発表できるということは、とても貴重な体験だと思いますので、一生懸命発表させていただきます。よろしくお願いします。
- 13番（田代朝来君） 議席番号13番 2年、田代朝来です。夏休みから積み重ねてきたことを発揮できるよう頑張りますので、よろしくお願いします。
- 14番（山崎瑠夏君） 議席番号14番 2年、山崎瑠夏です。今日はとても緊張しておりますが、精一杯自分の意見を言っていきたいと思います。よろしくお願いします。
- 15番（田代夕芽君） 議席番号15番の2年、田代夕芽です。今回、このような場所で発言するのはなかなか無い機会だと思っているのでとても緊張していますが、頑張ります。よろしくお願いいたします。
- 16番（山田育代君） 議席番号16番 2年、山田育代です。とても緊張していますが、これからの生活に活かせるよう頑張りたいと思います。よろしくお願いします。
- 議会事務局長（鈴木辰弥君） 高校生議員の皆様、ありがとうございました。

ここで報告いたします。本来であれば、本日出席するところでしたが、部活動のために欠席となった高校生議員を、名前のみ紹介させていただきます。1年生の岩瀬史歩さん、同じく1年生、澤木ひかるさん、2年生の佐藤えりなさんの3名は、本日欠席しております。

続きまして、本日、当局側から傍聴していただく先生を御紹介いたします。小山高等学校校長綾部信明先生です。

○小山高等学校校長（綾部信明君） よろしくお願ひします。

○議会事務局長（鈴木辰弥君） 続きまして、小山高等学校教頭 脇谷邦弘先生です。

○小山高等学校教頭（脇谷邦弘君） よろしくお願ひします。

○議会事務局長（鈴木辰弥君） ありがとうございます。

そして、今回は、こちらの席から傍聴いたします町議会議員の皆さんです。よろしくお願ひします。

町議会議員の皆さんにつきましては、先ほど小山高校生の生徒さんたちと顔合わせをしておりますので、紹介を割愛させていただきます。

以上で、開会式を終了させていただきます。

それでは、勝俣議長のもと、議会の進行をよろしくお願ひいたします。勝俣議長は、議長席の方へ移動願ひます。

皆さん、起立願ひます。礼。着席願ひます。

議 事

午後 3 時 48 分 開会

○議長（勝俣昇太君） 本日はよろしくお願ひします。ただいま出席議員数は16人です。出席議員が定足数に達しておりますので、富士山金太郎議会は成立しました。

ただいまから平成28年富士山金太郎議会を開会します。

直ちに、本日の会議を開きます。

本日の議事日程はあらかじめ配付しましたとおりですから、朗読を省略します。

ここで報告をします。小山町議会傍聴規則第8条の規定により、本日は、傍聴席でのビデオ、カメラの撮影を議長において許可しておりますので報告します。また、報道関係者等による議場での記録用写真の撮影を議長において許可しておりますので、併せて報告します。

日程第1 議席の指定

○議長（勝俣昇太君） 日程第1 議席の指定を行います。

議席は、小山町議会会議規則第4条第1項の規定を準用し、議長が指定します。

議席は、ただいま着席の議席とします。

日程第2 会期の決定

○議長（勝俣昇太君） 日程第2 会期の決定を議題とします。

お諮りします。本議会の会期は、本日1日としたいと思います。これに御異議はありますか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（勝俣昇太君） 異議なしと認めます。したがって、会期は、10月14日、1日と決定しました。

○議長（勝俣昇太君） 日程第3 これより一般質問を行います。

質問者は、登壇し、質問願います。

通告順どおり、順次発言を許します。

はじめに、2番 勝又涼菜君。

○2番（勝又涼菜君） 小山町のPR戦術について質問します。

小山町には、富士山、金太郎、あしがら温泉などがあり、観光地としては魅力的なものは多くあります。また、都心からの近さや自然の豊かさなどは、観光地としては強みであると思います。では、なぜ観光先の候補として小山町が挙げられないのかというと、小山町という町の認知度が余り高くないからだとは私は考えます。そこで、私は、2つの解決策を提案します。

1つ目は、小山町の認知度を上げる方法として、SNSを利用した宣伝活動に力を入れることです。SNSは今、大きな情報発信源で、各自治体が工夫をしながら活用をしています。例を挙げると、ツイッターを千葉市、札幌市、フェイスブックを佐賀県武雄市や沖縄県金武町、インスタグラムを下呂市や沼津市で活用し、成果を上げているようです。

小山町のフェイスブック「足柄山の金太郎」はフレンドリーで親しみやすい内容ですが、イベントや小山町の情報が見つらいように感じました。ツイッターの気軽に投稿できる良さを利用し、最新のイベントや行事ごとの実況中継をしても良いと思います。

また、沖縄県金武町のフェイスブック活用は大変おもしろく、一番初めのタイムライン記事が1584年となっており、過去の歴史的出来事を順に載せています。小山町も歴史的な出来事が多くありますので、取り入れてみてもおもしろいと思います。

SNSごとの特徴を活かし、小山町と町内のイベントや行事を周知することで、多くの世代の方の目にも止まりやすく、興味を引くことができると私は思います。

2つ目は、小山町と富士山の関連づけを強めることです。静岡県の富士山といえば、御殿場市または富士宮市が挙げられることが多く、県内外では小山町イコール富士山というイメージが余り無いと感じます。

そこで、富士山を使って小山町を盛り上げます。御殿場市では、子どもたちが描いた富士山の絵の展示、富士登山駅伝などを行っています。ですが、小山町では御殿場市や山梨県側と違い、富士山と名のつくイベントが少ないです。富士山と名のつくイベントが増えれば、小山町が富士山の近くであるということが分かり、観光客等が集まりやすく、認知度が上がると考えました。

また、富士山の登山口においても、須走口の利用者数は、ほかの登山口と比べ、余り多くないように感じます。須走口には、風景に変化があることや下山道が短いことなど、多くの良さがあるので、もっと大々的にPRしていくべきです。世界遺産の富士山を利用することで、小山町の認知度を上げていくことができると私は思います。

このことについて、町の考えをお伺いします。

○議長（勝俣昇太君） 答弁を求めます。町長。

○町長（込山正秀君） 勝又議員にお答えをいたします。

私は、現在、町長に就任して2期目の2年目を迎えております。

小山町を金太郎のような元気な町にするため、就任した5年前に「金太郎大作戦」という政策提言を掲げ、町民の皆様に政策を示し、確実にその政策を進めていくことを約束いたしました。2期目におきましても、新たに「金太郎大作戦第2章」を掲げ、引き続き小山町を元気にするための施策を全力で進めているところであります。この小山町を元気にするには、小山町の知名度を高めることにもつながっていくと考えております。

さて、勝又議員提案の1つ目、小山町の認知度を上げるために、SNSを利用した宣伝活動に力を入れることについてであります。

議員がおっしゃるとおり、私もSNSは大きな情報発信源であると認識をいたしております。現在、本町では平成25年から「足柄山の金太郎」フェイスブックを立ち上げ、町のイベントに金太郎が登場してイベント内容の紹介や、町内の観光スポットなどをPRいたしております。

見ていただいた方に金太郎が話しかけているような掲載をしており、議員御指摘のとおり、親しみやすい内容になっていると思います。

しかし、イベントや小山町の情報が見づらいと感じている点につきましては、改善が必要であると考えております。そのため、「足柄山の金太郎」フェイスブックを今後活用しながらも、新たに小山町公式のSNSを早急に立ち上げ、イベント情報を分かりやすく発信できるようにいたします。

また、併せて、皆さんが利用しているフェイスブックやツイッターなどのSNSを通じて町の情報を広げていただけるように、町の公式ホームページの情報をSNSで簡単にシェアできるボタンの追加をしていきたいと考えております。

次に、2つ目の御提案の、小山町と富士山の関連づけを強めることについてであります。

富士山は世界文化遺産に登録され、日本人はもとより世界においてもその名が知られているのは皆さん御承知のとおりであります。

小山町は、富士山頂までを町域とするとともに、富士山に5つある登山道でも、最も緑豊かな須走登山道を持っております。今年は約3万5,000人の方が、この須走登山道を訪れております。勝又議員がおっしゃるとおり、富士山を活用した小山町のPRは非常に効果的であると思います。私も勝又議員と同じように考え、町長に就任した平成23年から、金太郎まつりの前に富士山を頭につけ、富士山金太郎春まつり、富士山金太郎夏まつりといたしました。その他、イベントの名前に富士山をつけていくことについては、今後、検討していきたいと思っております。

これからも、須走登山道を有名にするために、登山者数を増やしていく施策を考え、進めていくとともに、富士山や金太郎などの小山町の資源を利用した情報発信などに対する町の方針を明

らかにして、知名度の向上に努めていきたいと考えております。

以上であります。

○議長（勝俣昇太君） 再質問はありませんか。2番。

○2番（勝又涼菜君） 再質問をいたします。

PRの一環として、金太郎をモチーフとして、ゆるキャラを作るのはいかがでしょうか。

以上で、再質問を終了します。

○議長（勝俣昇太君） 答弁を求めます。町長。

○町長（込山正秀君） 勝又議員の再質問にお答えをいたしたいと思っております。

金太郎のゆるキャラの件でございますが、いろいろその話は前からございます。しかし、小山町は金太郎の生誕の地、小山町で金太郎が生まれましたということで、隣の町の南足柄市も金太郎の町ということでゆるキャラを持っております。また、金太郎の終焉の地の岡山県の勝央町がありますが、ここでもきんとくんというゆるキャラを持っておりますが、我々小山町にとりましては、今申したとおり、金太郎の生誕の地でありますので、本家本元、これをゆるキャラにしちゃうと、本物の金太郎がいささか擦れてしまうのかなと、こんな思いを持っておりますし、また、小山町におきましては金太郎と熊がセットということで、いつも行動をともにしているということで、ゆるキャラと熊、このイメージも若干金太郎が弱くなってしまおうのかなと、こんな思いもいたしております。

そんなことで、いろいろお話はございますが、今現在におきましては、今のままの金太郎でやっていきたいと、こんなことでございますので、御理解いただきたいと思っております。

○2番（勝又涼菜君） 以上をもちまして、私の一般質問を終了します。ありがとうございました。

○議長（勝俣昇太君） 次に、3番 高橋美紀君。

○3番（高橋美紀君） 小山町の路線バス、コミュニティバスについて質問します。

山々に囲まれた小山町において、交通環境が整っていることは、生活しやすい町づくりのために必要不可欠であると思っております。そこで、私は小山町でも運行を検討している、利用者の要求に対して運行形態するデマンド型バスの整備を進めれば良いのではないかと思います。

例えば、岐阜県の養老町では、実際に利用者の少ない決まった時間に決まったルートを実行する路線バス方式を廃止し、町民の搭乗予約によって運行時間やルートが決まるデマンド型バスを導入した交通体系を実施しています。具体的にはワゴン車6台で運行しており、利用者登録をし、利用者証をもらった人が乗車する希望日と乗車バス停、降車バス停と乗車時刻、または目的地の希望到着時刻を電話で予約します。予約は前日から乗りたい時間の30分前まで可能で、運賃は一律200円で、パスポートは月3,000円です。

確かにデマンドバスにはできるだけ多くの予約を束ねて1台に相乗りさせなければならない他に、電話で予約をする煩わしさ、予約の電話などに対応する人や車両の手配、到着時間の厳守などについての課題があります。しかし、月に2,700人の利用者があり、予約時に希望した到着した

時間を必ず守れるような運用がなされているようで、地域住民の満足度も向上しています。

私は、小山町では、朝夕は通勤・通学でバスを利用する人が多いと思うので、朝夕は従来どおり路線バスを運行し、日中はデマンド型バスにすれば、町民の生活スタイルに合ったバスが運用できると思います。

デマンドバスならば、自分の希望の場所、時間でバスに乗れますから、お年寄りの方や足の不自由な方も便利に使えらると思います。それに加えて、よく利用させる施設と連携して、何回その施設を利用すれば何回無料になるなど、乗りたくなるおもしろい割引も導入すれば、町内の施設利用数も増加するなど、経済効果ももたらせると私は考えております。

以上につきまして、町の考えをお伺いします。

○議長（勝俣昇太君） 答弁を求めます。企画総務部長。

○企画総務部長（湯山博一君） 高橋議員にお答えをいたします。

まず、質問にお答えする前に、小山町の路線バス、コミュニティバスにつきまして、現在の状況を簡単に説明いたします。

小山町の路線バスは、富士急行株式会社によりまして、小山町と御殿場市を結ぶ路線を中心に運行されています。この路線は、町内を南北に結んでおりますが、その一方、須走地区から小山地区にかけての東西方向を結ぶ路線バスが無いので、その移動を補う、町のコミュニティバスと小山・足柄地区の実証実験運行バスを運行しております。

町のコミュニティバスと実証実験運行バスは当初無料で始めましたけれども、公共交通は皆で支えていくものという考えのもと、平成26年10月からコミュニティバスを有料化とし、平成27年、昨年10月から小山・足柄地区の実証実験運行バスにおいても有料化としまして、現在に至っております。

それでは、高橋議員が御提案されました、町民の生活スタイルに合ったバスを運用するために、日中はデマンド型バスを導入することについてであります。

デマンドバスは、議員がおっしゃるとおり、利用する方の希望の場所と希望の時間にバスに乗ることができ、お年寄りや体の不自由な方々にも便利に使えらる仕組みだと思っております。

今の多くのデマンド型交通は、利用者からの予約を受けるシステムや車両の手配など、タクシー事業者の仕組みを有効に活用できるため、タクシー事業者が市、町などからの委託を受けて運行しております。

しかし、残念ながら、現在、小山町内にはタクシー事業者が無く、さらに営業所も無いので、デマンドバスを導入するには、町が独自で新たな車両や運転手、予約システムなどを確保する必要があります。このため、現時点でデマンドバスを運行すると、利用者の1人当たりの経費が非常に高くなり、さらに、町の財政的負担も大きくなりますので、導入することは難しいのではないかと考えております。

町では、路線バス、コミュニティバス、さらにデマンド交通など、小山町の公共交通機関のあ

り方を含めた計画として、小山町地域公共交通網形成計画を本年の6月に策定いたしました。

この計画を作るに当たりましては、まちづくりの方針となる小山町総合計画や、各部門の町の計画と整合を図ることはもとより、町民の方々の意向を酌むため、各地域で小山高校生にも出席をしていただきまして懇談会を開催するとともに、利用者・町民へのアンケートも実施をして、広く意見を聞いたところであります。

また、計画の決定に当たりまして、地域住民、交通事業者やその他関係機関の方々に構成されております小山町地域公共交通会議において協議をしていただいております。ちなみに、この会議には小山高校の教頭先生にも御出席をいただいております。

この計画の内容の一つとして、タクシー事業者の町内誘致を進め、路線バス・コミュニティバスを補うように、タクシー車両を活用した新たな公共交通として、運行方式の検討を進めることも計画しております。

今回の御質問、御意見も参考にいたしまして、今後も、分かりやすく快適で利用しやすい地域公共交通を目指し、地域公共交通会議で協議をしながら、地域公共交通の活性化と利用者の利便性の向上を図るように取り組んでまいります。

以上であります。

○議長（勝俣昇太君） 再質問はありませんか。4番。

○4番（江藤 黎君） 再質問をいたします。

タクシー事業者を誘致することに賛同します。しかしながら、タクシー事業者の誘致には、企業側にどのようなメリットがあるのか説明しなければいけなく、また、経費もかかるため、大変な面も多いと思いますが、どのように誘致を進めていくとお考えですか。

以上で再質問を終了します。

○議長（勝俣昇太君） 答弁を求めます。企画総務部長。

○企画総務部長（湯山博一君） 江藤議員の再質問にお答えをいたします。

先ほど答弁いたしましたとおり、現在、小山町内にはタクシー事業者、営業所はもとより、現在の駿河小山駅前や足柄駅前にはタクシーが待機をしているということもかなり少なくなっております。事業者の誘致も、おっしゃるとおりでございますけれども、まずはこの状況を良くしていくことが最優先ではないかなと考えています。

タクシー事業者やタクシーを利用される方々も含めて、金銭的な補助などの制度も考えていかなければならないのかなと考えております。

皆様の通います小山高校の近くにも、近い将来、宿泊施設の建設が計画をされています。交流する人々や定住する人々が増えれば、おのずとバスやタクシーなどの公共交通も充実していくのではないかなと、今、考えております。そのためにも、小山町が元気になるように、これからも努めていきたいと思っております。

以上であります。

○4番（江藤 黎君） 以上をもちまして、私たちの一般質問を終了します。ありがとうございました。

○議長（勝俣昇太君） 次に、5番 井上美祐君。

○5番（井上美祐君） 「いつでも、だれでも、どこでも」スポーツに親しめる町づくりについて質問します。

小山町は、町民が運動習慣を身につけ、心身ともに健康になることを目的としてスポーツ・レクリエーションを振興していますが、第4次小山町総合計画後期基本計画によると、「みんなが気軽にスポーツを楽しめる環境が整っている」と答えた人は、平成27年度の数値で37%であり、施設の充実に見合った数値が出ていないと思います。

スポーツに関わることで、子どもは大きく成長します。つまり、「いつでも、だれでも、どこでも」スポーツに親しめる町づくりを目指すことが小山町の活性化につながると考えました。

そのために4つのことを提案します。

まず1つ目に、スポーツ環境の整備についてです。例えば、公園や広場などの身近なスポーツ環境においてボールなどが使えるように防球ネットを増設することで、球技のしやすい小規模なスポーツ広場の環境づくりができると思います。そして、小学校・中学校のグラウンドや体育館の開放を促進し、大規模なスポーツ広場の環境づくりを行うことで、広場の利用者や公園の利用者が安心して球技を行えると思います。

2つ目に、スポーツに接する機会の増加についてです。札幌市では、トップアスリートを招いてスポーツ体験教室などを実施しています。そこで、プロスポーツ選手によるスポーツ教室や親子スポーツ教室を実施することで、子どもたちがスポーツに興味を示す大きなきっかけになると思います。プロ野球の鈴木大地さんやバレーボールの杉山祥子さんなど、小山町出身の方が来てくれば効果は絶大だと思います。

3つ目に、地域ぐるみのスポーツ推進についてです。小山高校でも、将来的にも現在行っている競技を続けたい、さらには指導者になりたいなどと考えている生徒も多いですが、現実的にその活動を行えている人はごく一部です。そこで、指導者やスポーツトレーナーなどとしてスポーツに触れたいと考えている人を登録し把握することで、スポーツ教室やスポーツチームへうまく派遣するシステムを新設すれば、生涯スポーツに関わるができる環境づくりが進むと思います。

そして、最後に、スポーツ関係のアニメ、漫画、関連小説によるきっかけづくりについてです。アニメや漫画に影響されてスポーツを始める人は少なくありません。そこで、図書館と協力し、スポーツ関係のブースを新設、推進することで、子どもたちのスポーツへの関心を高め、スポーツを身近に感じることができると思います。

こうした活動を行っていくことで、将来的に少年団や小学校のクラブ活動、中学校・高校の部活動で県上位の成績を成績をおさめるようになれば、健康推進だけでなく、スポーツの町小山町

として小山町の活性化や知名度アップにもつながると私は思います。

以上のことについて、町の考えをお伺いします。

○議長（勝俣昇太君） 答弁を求めます。教育長。

○教育長（天野文子君） はじめに、1つ目の御提案でありますスポーツ環境の整備についてお答えします。現在、小山町では、町立学校体育施設等開放事業として、町内の小学校・中学校の体育館、武道場、格技室、グラウンドを一般開放し、誰でも気軽にスポーツ活動ができるよう貸出をしております。特に体育館では、球技などができるように防球ネットなども用意しており、利用者のニーズに合わせた施設整備を整えております。

一方で、地域の公園や広場などは、子どもから大人まで、誰もが利用できる憩いの場でありますので、利用者の安心・安全を図る上で、球技ができる環境を整えることはいかがかなと考えております。

現在、町内全ての小学校・中学校が体育施設の開放を行っておりますので、町といたしましては、引き続き開放事業の周知や利用促進に努めてまいりたいと考えております。

次に、2つ目の御提案でありますスポーツに接する機会の増加についてお答えします。小山町からは、バレーボールのアテネ・北京オリンピック日本代表の杉山祥子さんや千葉ロッテマリーンズの鈴木大地さんなど、著名な選手を輩出しており、町でも町内の子どもたちが一流選手からスポーツや生き方などを学ぶことができればと考え、御提案のありましたような各種教室を開催しております。

昨年度は、11月にアテネオリンピック男子体操団体金メダリストの水鳥寿思さん、12月には鈴木大地選手をそれぞれ講師に招き、子どもたちを対象とした教室を開催いたしました。通常の教室とは異なり、第一線で活躍している選手からの指導ということで、子どもたちはテクニックだけでなく、生き方や物事の考え方などを学ぶことができ、大変感銘を受けている様子が見られました。

そのため、今後も機会があれば、トップアスリートを講師に招いた教室や講演会を計画し、スポーツ活動の推進ときっかけづくりに努めてまいりたいと考えております。

次に、3つ目の御提案であります地域ぐるみのスポーツ推進についてお答えします。現在、小山町では、各地域から選出しておりますスポーツ推進委員を中心とし、スポーツの実技指導やスポーツ活動促進のための組織の育成支援、スポーツ事業への協力などを行っています。この委員は、各方面からの依頼やスポーツ教室、スポーツ行事に講師として出向くなど、小さな子からお年寄りまでスポーツに親しめる環境づくりに活躍していただいております。

また、町のボランティアセンターにもスポーツ関連で支援していただける方がボランティアとして登録されており、地域の依頼や町の事業に支援いただいております。このため、指導者やトレーナー等としてスポーツに触れたいと考えている方などは、地域のスポーツ活動に御参加いただき、その状況を把握していただくとともに、行く行くは小山町のスポーツ推進委員やボランテ

ィアとして活動していただければと考えております。

最後の御提案でありますスポーツ関係のアニメ・漫画・関連小説によるきっかけづくりについてお答えします。町としても、読書活動が様々な活動の関心を高め、動機づけになる重要なものであると認識しております。小山町立図書館には、ヤングアダルトコーナーを開設しています。これは、高校生などの若い世代の目線から図書館に所蔵されている図書を選んでいただき、それを同世代に伝えていくため、図書の陳列だけでなく、本の内容のコメントも紹介しているコーナーです。このコーナーはヤングアダルトの皆様自らの手で充実させていくコーナーですので、井上議員や渡辺議員もぜひ図書館に足をお運びいただき、ここにスポーツ活動推進につながる関連図書の御提案や御紹介をいただければと思います。町も、このコーナーの関連図書の陳列を、多くの皆さんの活動の意見をいただきながら充実させていきたいと考えております。

いずれにいたしましても、今後とも様々な施策を実施していくことで、スポーツ・レクリエーション活動の振興を図り、町の活性化や知名度アップにつなげていきたいと考えております。

以上です。

○議長（勝俣昇太君） 再質問はありませんか。6番。

○6番（渡辺千晶君） 再質問をいたします。

図書館と協力し、スポーツ関係のブースを新設することについて、既にヤングアダルトコーナーを設けていると答えていただいたのですが、中高生からではなく、幼少時からもっとスポーツに関して興味を持つことで、その後の活動の足がかりや発展につながっていけばと考えて、このような質問をさせていただきました。こちらに対しては、どのようにお考えでしょうか。

以上で、再質問を終了いたします。

○議長（勝俣昇太君） 答弁を求めます。教育長。

○教育長（天野文子君） 渡辺千晶議員の再質問にお答えします。

確かにそのとおりでして、幼少時にスポーツに興味を持っていただくための施策が大事だと思います。町立体育館では、親子体操教室や幼児・児童を対象とした体操教室を開催しております。また、図書館では、幼児期からの読書活動のために読み聞かせコーナーや、それから絵本コーナー、児童書コーナーを設置しております。児童書コーナーにはスポーツに関する本もたくさん置いてあります。先ほどの井上議員の答弁の中でも申し上げましたが、絵本コーナーや児童書コーナーにおいても多くの皆さんの声を取り入れながら充実していきたいと考えておりますので、何かこんな本がいいなとか、こんなものを入れてほしいということがありましたら、ぜひ図書館に御提案や御紹介をいただければ幸いです。

以上であります。

○6番（渡辺千晶君） 以上をもちまして、一般質問を終了します。ありがとうございました。

○議長（勝俣昇太君） 次に、7番 小見山大輔君。

○7番（小見山大輔君） 小山町の災害ハザードマップについてお伺いします。

近年、東日本大震災や熊本大震災の発生により、日本全国で安心安全な生活への意識が高まっています。小山町も、特に東海地震や火山噴火など自然災害と隣り合う地域であります。そこで、誰にでも分かりやすく防災情報を手に入れることができる環境整備が必要であると私は思います。

現在、小山町で制作、配布されている小山町防災マップや土砂災害ハザードマップ、富士山ハザードマップの一つ一つのクオリティーはとても高く、危険区域など細部まで細かく書かれていて専門的だと思います。ですが、専門的な余り、小山町に詳しくない人や観光客には一目見ただけではしっかりと正確に情報を把握することが難しいと感じました。また、土砂災害、地震などの種類によってマップがばらばらです。もしものときに、誰が見ても分かりやすい簡単で正確なハザードマップが必要だと思います。

例えば、御殿場市の避難マップはグーグルマップを使用し、ホームページで簡単に調べることができ、見やすさ等の工夫もされています。さらに、防災マップでは、地区ごとに分け、より詳細に制作しており、警戒地区や公共施設などの避難施設が分かりやすいものとなっています。

どんなに素晴らしい情報が載っている防災マップやハザードマップがあっても、受け取る側が十分に活用できなければ、意味の無いものになってしまいます。地域住民の方の意識をさらに高くしていくことが必要ですが、そのためにもまずは親しみやすい防災マップやハザードマップを作成することが一番であると思います。

以上のことについて、町の考えをお伺いします。

○議長（勝俣昇太君） 答弁を求めます。危機管理監。

○危機管理監（岩田芳和君） 小見山議員にお答えします。

小山町の災害ハザードマップについてであります。平成23年の東日本大震災をはじめとして、日本列島では、火山噴火、豪雨など、大規模な災害が多発しており、防災や危機管理対策の一貫としてハザードマップの作成が喫緊の課題となっております。

このため、町といたしましては、ハザードマップから危険な区域や防災に関する情報などを学び、災害時には的確な防災行動がとれることを目的に、小山町防災マップ、富士山ハザードマップ、土砂災害ハザードマップを作成、配布をしており、また、町のホームページで閲覧、ダウンロードが可能となっております。

ハザードマップにつきましては、自然災害による被害の軽減や防災対策に使用する目的で、被災想定区域や避難場所、避難経路などの防災関係施設の位置などを表示した地図とされていますが、作成に当たり、地図以外に警戒避難時の連絡体制などの多種多様の情報を記載することとなっていますので、限られた紙面に充実した内容を収め、それを見やすくすることに苦慮しているところでもあります。

一方、議員御指摘のとおり、正しい情報を得るには、ハザードマップの見やすさ及び分かりやすさは大変重要なことであると理解しておりますので、より利用しやすいハザードマップとし、平常時における防災意識の高揚などに寄与すべく、今後も質の向上を図ってまいります。

また、日頃から家族で防災の話をする事で意識が高まり、緊急時も素早くて確かな行動ができるかと認識しておりますので、ハザードマップを活用し、周辺の危険度を把握し、身の安全を確保していただきたいと考えております。

以上であります。

○議長（勝俣昇太君） 再質問はありますか。8番。

○8番（村松里彩君） 再質問をさせていただきます。

私自身、外出するときなど、グーグルマップ等の地図アプリを使用する機会が多々あります。実際に使っていて大変便利です。そのようなアプリケーションとハザードマップを結びつけることはできないのでしょうか。

再質問を終了します。

○議長（勝俣昇太君） 答弁を求めます。危機管理監。

○危機管理監（岩田芳和君） 村松議員の再質問にお答えいたします。

議員御指摘のとおり、グーグルマップ等の地図アプリはハザードマップの作成に大変有効なものと考えておりますので、今後検討してまいりたいと考えております。

以上であります。

○8番（村松里彩君） 以上をもちまして、私たちの一般質問を終了いたします。ありがとうございました。

○議長（勝俣昇太君） 次に、9番 坂井新一君。

○9番（坂井新一君） 小山町の魅力の伝え方について質問します。

小山町は自然環境がとても良く、落ちついて過ごせます。私は、その魅力をもっと広く知ってもらえれば、移住者や町外から足を運んでくれる人が増えると思いますし、さらに小山町の子どもの感情や情緒を育む情操教育にも大きく成果をもたらすと考えています。人口や小山町に来てくれる人が増えれば、消費が今までよりも増え、地域経済は活性化すると思いますし、町の将来を担う子どもたちに小山町の良さが伝われば、過疎高齢化対策にもつながります。

そこで、小山町の川、鮎沢川を利用した町営のキャンプ場やバーベキュー場を建設すれば、小山町の魅力を町内外に広めることができると私は思います。

周辺の市町村には公立のキャンプ場も多く運営されています。裾野市では裾野市十里木キャンプ場、長泉町には桃沢キャンプ場などが有名です。十里木キャンプ場では2,000人、桃沢キャンプ場では7,000人ほどの年間利用者数があり、リピーターも多く利用しているそうです。公立ではありませんが、富士宮市の西富士キャンプ場は年間2万人が利用しており、経済効果をもたらしています。

現在はアウトドアに注目が集まり、キャンプブームが到来しております。しかし、小山町には自然に囲まれた素晴らしい環境があるにもかかわらず、アウトドアを楽しもうと思えば町外に出ていってしまうのが現状です。自然豊かな環境で生活している良さを小山町民に感じてもらう

ためにも、アウトドアを町内で楽しめる施設として、キャンプ場は最適であると私は考えます。今後、足柄サービスエリアにスマートＩＣの設置が計画されており、このアクセス網を利用すれば、首都圏のほか、多くの地域からの誘客が望めると思います。

さらに、キャンプ場運行に並行して、マイクロバスで小山町の大自然などを回り、最後に大自然の中でバーベキューをして、自然の中での生活を体験してもらうなどのツアーを企画するのも一つの手だと思います。

このように、小山町の最大の魅力である自然環境を活かして観光客を増やすとともに、子どもたちの教育的効果をもたらしていけば、小山町をより活性化していくことができると私は考えています。

このことについて、町の考えをお伺いします。

○議長（勝俣昇太君） 答弁を求めます。経済建設部長。

○経済建設部長（池谷精市君） 小山町の魅力の伝え方についてであります。

本町には恵まれた自然環境をはじめ、世界に誇る富士山や富士スピードウェイ、11か所のゴルフ場、そして金太郎生誕の地にちなんだゆかりのスポットなど、魅力のある観光資源が数多くあり、町のホームページや金太郎フェイスブック、各種観光パンフレットにより町のPRを行っているところであります。

また、高速道路網の整備により、首都圏からのアクセスも良く、全国各地から誘客が望める立地環境にあります。

現在、鮎沢川を利用したキャンプ場やバーベキュー場はありませんが、足柄地区の鮎沢川沿いにある足柄ふれあい公園では、毎年、富士山金太郎夏まつり昼の部の会場として、鮎沢川を活用した川下りレースや芝生広場でのバーベキューなどを実施し、県内外から多くの方が集まり、真夏のイベントとして賑わいを見せているところであります。

今後、足柄ふれあい公園については、施設の管理運営を民間事業者に委ねて、そのノウハウを活用することで、サービスの向上などが期待されます指定管理者制度の導入を視野に入れ、日常的にもバーベキューが楽しめる施設として整備をするとともに、町内各所で行われていますトウモロコシの収穫などの農業体験との連携、金太郎ゆかりの地をめぐるツアーの実施、さらには、足柄ふれあい公園だけでなく、町内の豊富な森林資源を活用したキャンプ場の設置なども併せて検討していきたいと考えております。

今後も、町内の自然環境や観光資源を活用した事業を実施することで、町の魅力をさらに高め、町内外から多くの方々を訪れる町にしていきたいと考えております。

以上であります。

○議長（勝俣昇太君） 再質問はありますか。10番。

○10番（瀬戸友香君） 再質問をいたします。

今回、質問を作成するために調べていく中で、全国の多くの市町村で公営のキャンプ場が建設

されているにもかかわらず、豊富な自然環境がある小山町にキャンプ場が無いことに驚きを感じました。キャンプ場を建設するに当たって多くのデメリットやリスクがあるためだと思うのですが、今まで建設に踏み切らなかった大きな理由を教えてください。

これで再質問を終わります。

○議長（勝俣昇太君） 答弁を求めます。経済建設部長。

○経済建設部長（池谷精市君） 瀬戸議員の再質問にお答えをいたします。

議員御指摘のとおり、隣の御殿場市や裾野市、また神奈川県山北町、山梨県の山中湖村には幾つかのキャンプ場がございます。これらのキャンプ場は大きな川沿いであったり湖の近くであったり高原であったりということで、その環境によって作られております。

施設は利用していただければその効果を発揮できませんので、キャンプ場を利用する方々がそうした環境を好むという考えから作られたものと考えております。その意味で、小山町ではこれまで、そうした適地がなかったことから建設がされなかったというふうに考えております。

しかしながら、最近では余暇の時間の過ごし方が多様化してきており、グランピングというぜいたくなキャンプに人気が高まっていることもあり、魅力のある施設には人が集まるという傾向もあることから、先ほど答弁の中でもありましたが、今後は町内にキャンプ場の建設を積極的に検討してまいりたいと思います。

以上であります。

○10番（瀬戸友香君） 以上をもちまして、私たちの一般質問を終了いたします。ありがとうございました。

○議長（勝俣昇太君） 次に、11番 谷口碧惟君。

○11番（谷口碧惟君） 小山町の健康福祉対策について質問します。

日本では少子高齢化が進み、それに伴って高齢者をどのように支援・サポートしていくかが着目されていますが、その政策にも限界があると思います。そこで、逆の発想から、高齢者自身が老いに負けない健康的な体づくりをすることが大切であると私は考えました。

例えば、総合体育館や小山町健康福祉会館にはトレーニングジムやリラクゼーションスタジオが設置されています。そこで高齢者向けのガイドンスを行うことで健康意識が高まり、施設の利用が増え、健康長寿なお年寄りも増えると思います。また、足の不自由な方や、総合文化会館、健康福祉会館までの交通手段が無い方でも気軽に使えるように、各区のコミュニティセンターにもちょっとした器具などを置くことによって誰もが気軽に使えるようになり、運動が趣味につながると思います。

また、地域の学童保育などの子どもたちと高齢者の方が一緒に運動することで、子どもたちに高齢者に対する思いやりが育まれ、地域間において、より町民同士が互いに支え合う町になることを期待します。

その他にも、足柄小学校では、運動会で行う盆踊りを練習するときに、地域の高齢者の方々が

来て子どもたちに教えるということが行われています。このような活動を増やしていけば、地域との交流を持ちながら昔ながらの良さを伝えることができ、なおかつ高齢者が運動する環境が整い、一石二鳥の取り組みになると思います。

現在の小山町の福祉施策では、地域で支え合う福祉の推進を目標に、町民一人一人が考えることができるように、地域ぐるみの子育てやふれあい茶論など、いろいろな取り組みを行っていて、充実していると思います。それらに加えて、以上のような施策を取り入れることで、健康で元気な小山町を作り上げると私は思います。

以上のことについて、町のお考えをお伺いします。

○議長（勝俣昇太君） 答弁を求めます。町長。

○町長（込山正秀君） 谷口議員にお答えをいたします。

健康福祉会館は、今年の5月にリニューアルオープンし、温泉施設のあった3階部分はリラクゼーションスタジオやダンス・ヨガスタジオに改修しました。リラクゼーションスタジオでは、若者からシニア世代までが利用できるトレーニングマシンを導入し、常時トレーナーがトレーニング機器の使い方や運動プログラムの指導を行っております。

また、町では、ヨガやセルフマッサージ、脳トレエクササイズ等の6種類の体験講座を健康福祉会館で毎週実施をしているほか、町オリジナルの介護予防体操、元気だらゑ体操を、一部の地域になりますが、1日3回、地元のケーブルテレビで放映するなど、自分に合った運動を見つけるきっかけづくりや気軽に楽しくできる運動を提供いたしております。

小山町民の健康寿命を延ばすためには、元気なうちから、また、若い世代からの健康づくりが重要となります。

そこで、各地の公民館などで介護予防ボランティアである、はつらつ元気サポーターの皆様の協力を得ながら、住民自らが自分たちの健康は自分たちで守ろうと体操教室の実施に取り組んでおります。

器具を置くことは今のところ予定しておりませんが、元気だらゑ体操のDVDを各シニアクラブに配布したり、運動講師を地域へ派遣するなど、健康づくり運動の推進に努めております。

また、谷口議員御提案の、高齢者と子どもたち、そして地域との交流は、高齢者の生きがいくくりにもつながる大変大切なことでもございます。

現在、子どもたちと高齢者が一緒に運動・交流する機会として、町民体育大会や保育園・幼稚園の運動会等がありますが、今後もそうした機会を増やししながら、健康で元気な小山町を実現させてまいりたいと考えております。

以上であります。

○議長（勝俣昇太君） 再質問はありますか。12番。

○12番（天野隆佑君） 再質問をいたします。

静岡県が行っている65歳から元気で自立して暮らせる期間を算出したお達者度測定について、

小山町は県内35ある市町で常にワースト3に入るほど低い結果となっております。この結果が全てではないと思いますが、小山町の行っている政策がまだ浸透しておらず、高齢者の健康推進は急務であると感じました。

小山町としてお達者度測定の結果に基づいた健康支援を行っていくとマニフェストに記載されていますが、どのような政策を行っていくことでお達者度を上げていくか教えてください。

以上で再質問を終わりにします。

○議長（勝俣昇太君） 答弁を求めます。町長。

○町長（込山正秀君） 天野議員の再質問にお答えをいたしたいと思います。

お達者度につきましては、本当に危惧している問題でございます。最初から、もう4年連続ですか、小山町は、御指摘のとおり最下位をさまよっていると、こういうことでございます。

先ほども答弁申したとおり、今年5月には健康福祉会館をリニューアルいたしました。これもその対応の一つであるわけでございます。また、一昨年におきましては、健康課を健康増進課と看板のかけかえをして、この取り組みについて一生懸命やっていたというところでございます。

健康マイレージというのも作りまして、これはいろいろな行事に参加された方にポイントを与えて、これがたまと商品を出すと。また、年に4回ですか、抽選があると、こんなこともやって、奨励をしているところでございます。

やるべきことはやっているつもりですが、なかなか成果が出てこない。本当にこれは困ったことだなと思っておりますが、これもまた、今の御指摘のとおり、また新たな形でのこれに対する取り組みを、これから一生懸命やっていくつもりでございますので、御期待をしてください。

以上であります。

○12番（天野隆佑君） 以上をもちまして、私たちの一般質問を終了します。ありがとうございました。

○議長（勝俣昇太君） 次に、13番 田代朝来君。

○13番（田代朝来君） 小山町のUターン就職の施策について質問します。

小山高校には多くの大学進学者がいますが、県外の大学に進学した後に小山町に戻って就職をする生徒は余り多くありません。

若い人材が地元に戻り、そこで仕事につくことは、産業人材を確保するだけでなく、小山町全体の活性化にもつながります。小山町で生まれ育った人たちが小山町で就職したいと思わせることが大事であると私は考えています。

そこで、私は、小山町出身者を対象とした奨学金制度があれば、Uターン就職を促進できるのではないかと考えました。私自身、保育士を希望しているので、例えば保育士を希望し大学卒業後、小山町で勤務をすると返済免除等の特典がつけば、小山町で就職したいと考えます。現在、求人情報を見ると、小山町内の保育士の募集は多く見られるものの、町内の人口減少に伴

って保育士全体の数は減少傾向にあると考えられます。保育士が多く在籍していると、園児一人一人に対して真摯に関わり合うことができ、そういった子育て支援が充実している小山町というイメージが広がれば、良い環境で子育てをしたいという子持ち家庭の移住先として小山町が候補に挙がることも考えられます。

この制度は現在、千葉県船橋市で実施されています。船橋市では保育士に対し、給与上乘せ補助なども行っており、待機児童が全国ワースト2位の625人から203人に減ったことから、保育士が増加してきていることが伺えます。

静岡県でも同様の支援制度が実施されていますが、県ではなく小山町で行うことによって、小山町の活性化につながると思います。小山高校でも保育士、介護士を希望している生徒も多いため、保育士に限らず、看護師などでも実施することで、Uターン就職の施策の効果が生み出せるのではないかと考えています。

そして、この制度は、認知度を上げるために積極的な宣伝活動が必要であると考えます。船橋市では、ふなっしーを利用した広告を行っており、制度の周知がなされているようです。小山町としては、町内唯一の高校である小山高校に積極的に告知していくことで、制度の認知度が上がり、小山高校の生徒増加と小山町の活性化という相乗効果も生まれると思います。

私は、このような制度を増やしていくことで、徐々に小山町の人口も増え、活気溢れる住みやすい町小山町につながっていくと思います。

以上のことについて、町の考えをお伺いします。

○議長（勝俣昇太君） 答弁を求めます。教育部長。

○教育部長（田代順泰君） 田代朝来議員にお答えをいたします。

小山町のUターン就職の施策についてであります。小山町では、町にU・I・Jターンをしていただこうと、小山高校や大学等のインターンシップの受け入れや婚活支援事業など、様々な取り組みを行っているところであります。

小山町教育委員会といたしましては、Uターンを推進するためには、ふるさと教育を充実し、郷土への愛情や誇りを持っていただくことが重要だと考え、取り組んでおります。

議員御質問の奨学金についてであります。町教育委員会が持つ奨学金制度では、町内に居住をする優秀な生徒であって、経済的理由により修学が困難な方に対し、有用な人材を育成することを目的として、学ぶ意欲を持つ高校生、大学生、高等専門学校生を対象に、無利子で学資を貸し付けております。

また、議員御承知のとおり、平成28年度から静岡県が保育士修学資金貸付制度を開始しました。この制度では、保育士の養成・確保を図るため、修学資金や入学準備金などの貸付を行い、卒業後一定期間、県内施設・事業所等で児童の保護等に従事した場合は、修学資金の返還が免除となります。保育士を目指す方にはかなり優遇された制度となっておりますので、将来、保育士を目指す方にはこの制度を活用していただけたらと考えております。

いずれにいたしましても、我がふるさと小山町とさせていただくことがUターンにもつながるものと考えておりますので、議員も周りの皆様に小山町の良さを発信していただければと思います。

看護師に関することにつきましては、住民福祉部長から答弁申し上げます。

以上であります。

○議長（勝俣昇太君） 答弁を求めます。住民福祉部長。

○住民福祉部長（秋月千宏君） 私からは、看護師への奨学金制度についてお答えをいたします。

町では、将来、保健師、助産師、看護師、准看護師、理学療法士、作業療法士として町民のために働きたいという希望を持つ方のために、保健師等修学資金の貸与を平成2年度から行っております。

この制度は、保健師、看護師等の資格を取得するために、文部科学大臣、厚生労働大臣及び都道府県知事が指定した学校等に通う方に、月額3万円を上限として修学資金を貸し付けるものであります。卒業後、町の職員または町内の医療機関等に貸付を受けた期間と同じ年数勤務をすれば、返済が免除されます。

昨年度までに32の方がこの制度を利用し、うち8の方が町職員を含む町内に就職をされ、返済が免除となっております。また、現在、2の方が貸付を受け、修学中であります。

この制度は、小山町在住、出身に限らず、町民のために働きたいという意思を持つ方なら誰でも利用することができます。貸付を受けた町外在住の方が町内医療機関に就職されており、Uターンだけでなく、Iターン、Jターンを希望する方にも活用していただける制度であると考えております。

例年、町民に向けて広報おやま等で新しく貸付を希望される方を募集しており、多くのお問い合わせをいただいておりますが、より多くの皆様に御利用していただくためには、田代議員の御提案にありますように、制度の積極的な宣伝活動は大事なことであります。

今後は、工夫を凝らしながら、制度の周知を図るとともに、小山高校へも積極的に呼びかけてまいりたいと考えております。

以上であります。

○議長（勝俣昇太君） 再質問はありませんか。14番。

○14番（山崎瑠夏君） 再質問をいたします。

保健師等修学資金貸与を平成2年から今日までの計25年間、続けているにもかかわらず、32人という少数の人しか利用していないというのは、この政策が周知されていないからであると思います。これに対してどのような宣伝活動を行っていく予定でしょうか。具体的に教えていただきたいと思います。

以上で再質問を終了したいと思います。

○議長（勝俣昇太君） 答弁を求めます。住民福祉部長。

○住民福祉部長（秋月千宏君） 再質問にお答えをいたします。

御指摘のとおり、確かに利用者は年平均にしますと1.3人と少ない数値であります。看護職が重労働だということからか、看護職を目指す方が少なくなっており、看護師不足と言われている現状がそのまま反映されているように思います。

現在、町が行っているPRにつきましても、先ほどの答弁にありましたように、主に広報誌を活用しておりますが、制度をより利用してもらうために、今後はホームページの活用、また、小山高校や近隣の高等学校等へ直接、制度のPR等に伺いまして、進路指導担当の先生方にも御協力していただきたいと考えております。

また、加えまして、看護職の素晴らしさややりがい等をもっと皆様に理解していただけるような職業PRの場が設けられないものか、関係者の皆様と一度相談してみたいと考えております。

以上であります。

○14番（山崎瑠夏君） 以上をもちまして、私たちの一般質問を終了します。ありがとうございました。

○議長（勝俣昇太君） 次に、15番 田代夕芽君。

○15番（田代夕芽君） 自然豊かな町の公園づくりについて質問します。

小山町内にある公園を訪れてみると、町内の公園には子どもたちが楽しめるような公園が少ないうように感じました。例えば、ふれあい公園や金時公園、豊門公園などには遊具がありません。私は、子どもたちが元気に遊び回れるような公園を造っていくことが、小山町を活性化し、住みやすい町へと変えていく第一歩だと考えます。

御殿場市の公園を例に出すと、桜公園にはローラーすべり台や広場が、樹空の森には遊具や水遊びをする場があり、ヒーローショーや物づくり体験など、様々なイベントが行われています。その他にも、駒門公園には子どもの遊べるアスレチックがあったり、中央公園では広場を利用してフリーマーケットが行われたりもしています。

このように、御殿場市には子どもやその家族向けに造られた公園がたくさんあります。これらの公園はいつも多くの子どもたちで賑わっており、御殿場市に明るさをもたらしています。

小山町の活性化のためにも、公園等が賑わい、地域住民の憩いの場となることが望まれます。そのためにも、一番良いのは遊具を増やし、子どもやその家族が利用したいと思える環境づくりをすることだと思います。公園内に冒険をイメージした遊具や遊歩道を造ることで、賑やかな公園を造り上げている北海道岩見沢市なども参考にできると思います。

また、その他にも、御殿場市の公園で行われているように、小山町内の公園でも広場を利用し、何かイベントを行ったら、人が集まり、町の活性化につながると思います。例えばフリーマーケットや実・草花などの自然のものを使った物づくり体験など、小山町内の公園の広さや小山町の自然の豊かさを利用したイベントなどを行ったら良いと思います。公園内で野菜や花を育てることで、地域内のコミュニケーションの場として活用したり、サツマイモ掘り大会などのイベント

を開催したりしている市町村もあります。

今まで注目されていなかった公園を魅力的な空間へと変えていく取り組みが実施され、子育てのしやすい町・地域コミュニティが形成された町というイメージができ上がることで、将来、多くの家庭にとって移住・定住先の候補地に小山町が挙げられることも期待できると私は思います。

以上のことについて、町の考えをお伺いします。

○議長（勝俣昇太君） 答弁を求めます。町長。

○町長（込山正秀君） 田代議員にお答えをいたします。

はじめに、公園には、利用目的に応じて様々な種類の公園があります。例えば、須走にあるなかよし公園は遊具等を設置し、近隣に居住する子どもたちや親子連れに有効に利用されております。また、児童の体力増進や情緒を豊かにすることを目的とした、比較的規模の小さな、いわゆる児童公園と称する公園にも遊具を設置し、児童に安全かつ健全な遊び場として提供いたしております。

ふれあい公園や金時公園、豊門公園などには遊具は設置してありませんが、これらの公園について少し紹介をさせていただきます。

ふれあい公園は農村公園として位置づけられており、広い芝生の広場でパークゴルフなどが楽しめます。その一方で、農業や園芸をやってみたいという方々のために公園の一部を市民農園として希望する方に貸出を行っております。

金時公園につきましては、金太郎を祭っている金時神社に隣接をし、健やかな子どもの成長を願う富士山金太郎春まつりの会場として使われているなど、子どもたちが集う公園としての位置づけがあります。この金時公園には、地元の皆様からも遊具が欲しいとの御意見をいただいておりますことから、金時公園には遊具を設置する計画があります。

また豊門公園につきましては、平成17年に公園内にある豊門会館和館、洋館、西洋館、正門、噴水泉、和田君遺徳碑の6つの建築物などが国登録有形文化財に登録され、歴史的希少価値の高いものとして認められております。平成20年、21年度には緑豊かな地域住民の憩いの公園として整備を行いましたが、現在、先ほど紹介しました文化財的価値のある公園内のものをよりじっくりと鑑賞していただけるような工夫を凝らした整備をしていく計画がございます。

このように、公園にはそれぞれの歴史や位置づけがありますことから、それぞれの特色に応じた整備を行っていくことが、議員お考えの賑わいのある地域住民の憩いの場になることにつながると考えております。

次に、公園の活用についてお答えをいたします。現在、町では、ふれあい公園におきましては富士山金太郎夏まつりの昼の部の会場として、祭り当日には町内外から多くの方にお越しをいただき、大変な賑わいを見せております。また、日常的にも、農業、園芸を楽しむ方々があり、特に休日には大勢の方で賑わっております。

金時公園におきましては、先ほども少し触れましたが、歴史ある富士山金太郎春まつりが、町

内外の子どもたちが参加する中で継続して行われております。また、豊門公園におきましては、町だけでなく、地元の方々の主催により、映画鑑賞会やもみじ祭りなどを開催し、町民をはじめ、町内外から多くの方に来ていただいております。

小山町は、現在、移住・定住の施策に積極的に取り組んでいるところでありますので、移住・定住の候補地に小山町が挙げられるよう、公園を魅力的な空間へとするような取り組みを、今後もしてまいりたいと考えているところであります。

以上であります。

○議長（勝俣昇太君） 再質問はありますか。16番。

○16番（山田育代君） 再質問をいたします。

移住先の候補として小山町を挙げてもらうためには、子どもたちにとって魅力的な町であることが必要だと思います。金時公園の遊具設置案は、子どもやその家族が利用したいと思える公園づくりの一つだと思うのですが、その他の公園で行われているパークゴルフや農業体験などは、子どもたちが楽しめるものではないように思います。金時公園の遊具設置や、現在行われているイベント以外で、何か子ども向けに計画されていることはありますか。

以上で再質問を終わります。

○議長（勝俣昇太君） 答弁を求めます。町長。

○町長（込山正秀君） 山田議員の再質問にお答えをいたしたいと思っております。

先ほどもお話ししましたが、金時公園につきましては、遊具を含めて整備計画を、今、進めているということでもあります。これにつきましては、2年ほど前から地域の方々にワークショップを開いていただきまして、この中には高校生ももちろんのこと、お子さんを持つお母さん、またお年寄りまで入っていただき、何遍かワークショップをやっていただきまして、地域の方々の意見をまとめて、それを今、計画を作っているところでございます。早ければ来年度から実施計画に入って、事業と、こんな形になるかと思いますが、その中には、おっしゃった、子どもたちが遊ぶ遊具も入っております。

また、あしがら農村公園であります。これにつきましては、御指摘のとおり、パークゴルフ場が周辺にあり、また、市民農園がありということで、芝生しかお使いになれないというような不便がございますが、これにつきましては、今現在、委託ということで地元の業者に管理だけを委託していると、こういうことでございます。これから、今、検討しているのは、指定管理ということで、いろいろ使い勝手を企業の方に考えていただいて、先ほどのような、お子さんが遊ぶようなことも含めて、また、バーベキューができるように広場を造るとか、幸いなことに、今年県の事業で鮎沢川の右岸側に親水公園ができております。どんぶらこもここでやっているわけですが、そんなことで、子どもたちの水辺で遊べるような環境も整っておりますので、指定管理をするときに、今のようなことも計画に入れていただいて、一緒にやっただくと、こんなことも考えられるのかなと思っております。

また、今、町が進めている内陸フロンティアを拓くという事業がございます。この中で、足柄のサービスエリアの隣地に観光レクリエーション施設ができることになっております。既に事業に手をつけているわけですが、この中にも、子どもさんが遊ぶような施設ができるやに伺っておりますので、また、事業者はこの点をお願いをしていきたいと思っておりますし、もう一つ、新東名が2020年、平成32年に開通するわけですが、大御神にパーキングエリアができて、このやっぱり隣接地も、今、開発ということで、町が取り組んでいるということで、ここはスピードウェイの真ん前ということで、モータースポーツ関連の施設を、今、誘致を進めているわけですが、この中にも、お子さんが関わられるような施設も造っていただくよう、企業側をお願いをしていきたいと、こんなこともございますので、一遍にはできませんが、今日の御意見、尊重して取り組んでまいりますので、御理解いただきたいと思っております。

どうも、今日はありがとうございました。

○16番（山田育代君） 以上をもちまして、私たちの一般質問を終了いたします。ありがとうございました。

○議長（勝俣昇太君） これで一般質問を終わります。

ここで、議長の私から、皆さんへ一言御挨拶を申し上げます。

本日は、熱い討論をありがとうございました。皆さんが夏休みから練り上げてきた質問は、小山町にとって助力になったと考えられます。こういった機会を通して、互いの良い経験になったと思っておりますので、本日の経験を忘れずに、若い世代のリーダーとして頑張ってくださいと思います。本日はありがとうございました。

以上で、本日の日程は全部終了しました。

これもちまして、平成28年富士山金太郎議会を閉会します。

午後5時25分 閉会

○議会事務局長（鈴木辰弥君） 皆さん、起立願います。お疲れさまでした。着席願います。

勝俣議長、議員の皆様、お疲れさまでした。勝俣議長は、1番の自分の席にお座りください。

では、ここで、お二人の方々から講評をいただきたいと思っております。

最初に、米山千晴議長、お願いいたします。

○議長（米山千晴君） どうも高校生議員の皆様、お疲れさまでした。特に勝俣議長、お疲れさまでございました。

思い起こすと6月24日に小山高校へ訪問させていただきました。高校生議会ということをお話しさせていただきました。今に至るまで、私は皆様方の熱意がこんなにひしひしと伝わってくるとは思っていませんでした。皆様方が本気になって調べ上げて、本気になって、今日、質問をされた。感銘を受けました。その感銘以外には今日は何もありません。本当に皆様方の熱意、これは真摯にお答えいただいた町長をはじめ、職員も、そう感じていると思っております。

皆様方におかれましては、この機会を十分に次のステップアップにつなげていただきた

と思います。皆様方は次の世代をつくる若者でございます。皆様方に私どもは託すわけでございます。本当に熱心に質問されましたことを、心から敬意を表します。そして、また、今日の日当たり、議会、当局の皆様、そして先生方、町長をはじめ、全ての方々に感謝を申し上げて、講評といたします。どうもありがとうございました。

○**議会事務局長（鈴木辰弥君）** 米山議長、ありがとうございました。

続きまして、小山高等学校校長 綾部信明先生、お願いいたします。

○**小山高等学校校長（綾部信明君）** 皆さん、今日はどうもありがとうございました。

私も議場で話をするというのは生まれて初めてなものですから緊張していますけれども、どうでしょうか、皆さん、本校の生徒。私も本当にびっくりしましたけれども、素晴らしいと思いませんか。

今日は本当にどうもありがとうございました。我々の教育が間違っていないというのがよく分かりました。

今回の件は、貴重なこのような議会というのは、我々教員にとってもめったにできないことであり、生徒にとっても初めてのことですので、本当に貴重な体験になったと思います。これを機会に、生徒諸君は、政治にもっと興味を持って、勉強していただきたいと思います。

議会といいますと、国会と、最近では都議会しかテレビで見ることがないんですけれども、今日は非常に落ちついた厳粛な中で議会が進み、やじでも飛ぶのかなと思っていたんですけれども、ふだんの小山町の議会がちょっと分からないものですから、どうなっているか分かりませんが、今日は本当に独特の雰囲気の中で、議長の勝俣君が進行をうまくしていただいたと思います。

この前の会議でちょっと自己紹介のときにも18歳以上の選挙権が導入されたという話で、全国では54%の全体の投票率でしたけれども、18歳に関しては、全国で51%ということでした。ただ、静岡県の方でも調査をしましたが、細かくは言えないんですが、高校生に関しては相当な投票率でした。要するに、各学校で主権者教育をしているものですから、それが初めてのことで、かなりの投票率となっています。実際は18歳の大学生の人たちが住民票の登録の問題だとか、戻ってこれないとか、そういう形で18歳の投票率は下がっていますが、高校生に関してはかなりの投票率でした。

ただ、ここにいる高校生は1、2年生と、3年生の勝俣君も18歳ではないということで、投票権の無い子たちばかりでしたが、今回のこの議会での経験を踏まえて、ぜひ、お気づきの方もいらっしゃると思いますが、小山町出身者は3名しかこの中におりません。ただ、小山町で生活しているので、高校では朝の7時前から下校時間7時ですから、その後、帰るまでの間、13時間か14時間は小山町にこの子たちはいますので、ほとんど小山町民ということになりますので、ぜひ今後も小山町のために今日の意見をもとに活躍してもらいたいと思います。

今日はいろいろな意見で、厳しい質問もあり、職員の皆さんを困らせたようなところもあると思いますが、今日のこの生徒たちの発言を少しでも皆さんの心にとどめていただいて、少しでも

小山町が活性化するようにしていただければと思います。

今日は、この機会を持っていただきました町長をはじめ、議員の皆様、どうもありがとうございました。ますます小山町の活性化のために、小山高校も頑張ります。生徒も頑張ります。教員も頑張ります。どうぞよろしくお願いします。

今日はありがとうございました。

○**議会事務局長（鈴木辰弥君）** 綾部校長、ありがとうございました。

それでは、最後になります、鈴木 豊議会運営委員会委員長から閉会の言葉をお願いします。

○**議会運営委員長（鈴木 豊君）** 高校生議員の皆さん、お疲れさまでした。

本日は、大変立派な富士山金太郎議会になったと思います。皆さんの熱意が、これだけ立派な議会になったということを肝に銘じて、私ども議員も頑張りたいと思います。

それでは、これをもちまして、平成28年富士山金太郎議会を閉会とさせていただきます。本当に御苦労さまでした。

○**議会事務局長（鈴木辰弥君）** ありがとうございました。皆様、長時間にわたりましてありがとうございました。もう一度、高校生議員の皆さんに盛大な拍手をお願いいたします。

（拍 手）

○**議会事務局長（鈴木辰弥君）** また、本日お越しいただきました傍聴席の皆さんも、本日はありがとうございました。

また、答弁いただいた町長をはじめ、職員の方もありがとうございました。

これをもちまして、平成28年富士山金太郎議会を終了いたします。お疲れさまでした。

午後5時34分 終了